

ほっかいどう ほけんふくし ぶふくし きょくしょう しゃほけんふくしか
北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課
しょう しゃしゅうろうしえんしさく
障がい者就労支援施策について

れいわ ねん ねん がつ にち
令和 2 年（2020 年） 7 月 16 日

ほっかいどう ほけんふくし ぶふくし きょくしょう しゃほけんふくしか
北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課

< 障がい者保健福祉課における障がい者就労支援の主な取組 >

(1) 道民、企業、行政等が一体となった応援体制づくり

① 北海道障がい者就労支援プログラム「アクション」登録制度

「障がい者の就労支援の輪を広げる取組～道民一人1アクション」は、障がいのある方の就労支援の取組を行っている、又は関心がある企業や市町村等を「参加者」として募集し、その取組を周知することにより、障がいのある方の就労支援に対する理解の促進を図るとともに、就労支援の輪を広げていきます。

【令和2年（2020年）6月末現在 登録者：587名、登録市町村：75市町村】

登録のメリット

「働く障がい者の応援」という社会貢献をアピールできます！

- 参加証交付
- 参加証マークの使用
白紙掲示、名刺や会社パンフレット等の各種印刷・広告物、製品等に掲載
- 週刊ホームページで積極的に取材
就労支援の取り組みをホームページで発表！

《応援の取組の一例》

- A：授産事業所の製品等の調達を応援**
 - ◆名刺やはがきの印刷を授産事業所に発注します
 - ◆「ホテル等」朝食用の納品を授産事業所から調達します
- B：授産事業所の製品等の販売を応援**
 - ◆店舗内に授産製品の販売コーナーを設置します
 - ◆バス会社「観光バス」の乗降ポケットに授産製品の広告を無料で購入します
- C：障がい者の経費用を応援**
 - ◆3ヶ月以内に前年に知的障がい者を多く入雇います
 - ◆「バス・鉄道会社等」障がい者の通勤経路の割引券を請求します
- D：障がい者の職場研修を応援**
 - ◆就労訓練を行う障がい者の実習生を受け入れます
 - ◆関連企業に対し障がい者が就労できるような積極的に働きかけをします
- E：障がい者の施設定着を応援**
 - ◆障がい者が働く上での悩み等を聴く相談窓口を社内に設置します
 - ◆自社でフィスを取り扱いますが動きやすいように商品を開発します
- F：その他の応援の取組**
 - ◆社員に対し障がい者の就労支援の研修を実施します
 - ◆道の「障がい者就労支援登録取得企業」の製品を優先的に買い付けます

このほかにも、あらたな工夫や取組の提案を募集しています。

② 障がい者就労支援企業認証制度（北海道障がい者条例第30条に基づく制度）

障がいのある方の多数雇用や授産事業所への優先発注など、障がいのある方の就労支援に取り組む企業等を一定基準により評価・認証するとともに、認証取得企業に対し入札上の優遇や低利融資制度活用等の配慮を行います。

【令和2年（2020年）6月末現在 認証企業数：189企業】

評価基準及び優遇措置

評価対象となる企業の数値

1. 障がい者の多数雇用
（労働力・従業員数：7人以上）
（労働力・従業員数・労働時間等の確保）
2. 授産製品等の販売促進
（店舗・展示スペース・販路確保）
3. 授産事業所への優先的発注
（発注額：50万円以上）
・バス、タクシー等の発注に優先
・バス、タクシー等の発注に優先
4. 障がい者の職場定着の向上
（実習生）
5. 障がい者の職場定着
（平均雇用継続期間：1年以上）
6. その他
（障がい者の社会参加に特に貢献する取組として評価委員会が認められたもの）

※2～6の評価基準は、障がい者雇用率等が20%以上であること。

入札上の優遇

- 競争入札参加申請書で加算評価
（発注企業に通知する入札申請書において、認証取得企業にのみ加算）
- 総合評価競争入札における加算評価
（発注企業が発注企業を決定するまでは、認証取得企業については加算評価）

※加算、加算率、発注額等については、発注企業の発注要約書に添付されている。

○発注要約書や入札における発注企業指定に配慮
○市町村等にも配慮協力の依頼

○経営者や従業員を対象とした研修実施
について、「中・小企業経営者研修」の事業費補助金の対象

北海道認証

障がい者就労支援企業
働く障がい者を応援しています
★★★★

③官公需の発注促進

障がいのある方が就労する施設等からの物品等の優先的な調達を促進するための方針を策定し、授産事業所等に対する発注に努めます。

【平成30年度調達実績（北海道分）：116,177千円】

（市町村・独立行政法人を含む調達実績：1,152,996千円）

●道の調達実績

（単位：人、円）

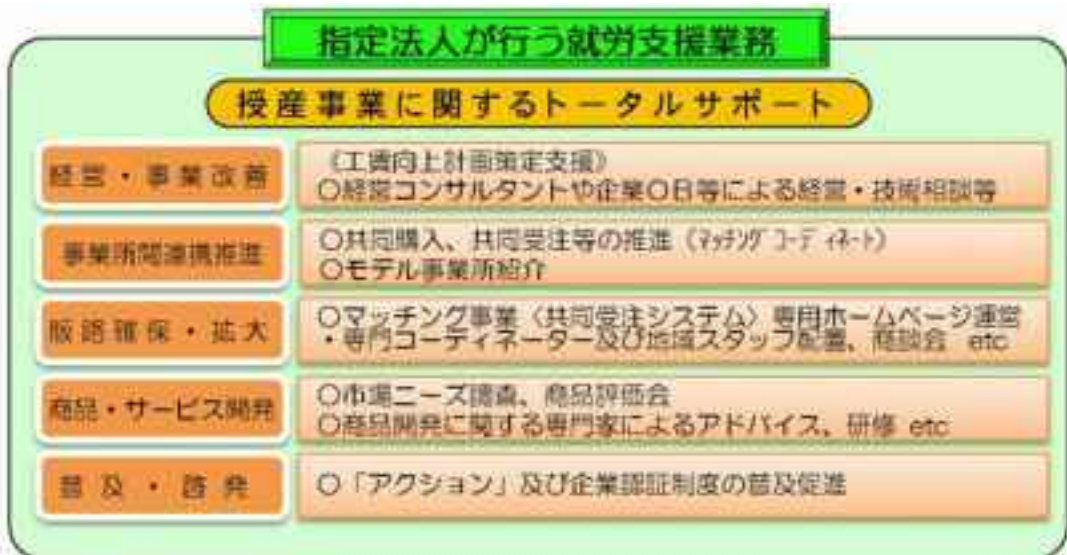
平成28年度		平成29年度		平成30年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
561	119,039,473	606	140,833,667	698	116,176,341

④工賃向上計画支援事業

北海道障がい者条例に基づく「指定法人」による授産事業の経営改善や受注拡大、販路の確保・拡大等の取組を行い、授産事業所における収益及び工賃水準の向上を図ります。

協定期間：令和2年4月1日（水）から令和3年3月31日（水）まで

負担金額：9,222,000円



●令和2年度（2020年度）の主な取組内容

<p>■個別経営相談</p> <p>「工賃向上計画」の作成支援等を目的とした中小企業診断士による個別経営相談を実施。</p>
<p>■経営・技術指導</p> <p>事業所経営や工賃向上に関する研修会を開催。</p>
<p>■マッチング事業</p> <p>専用ホームページ「ナイスハートネット北海道」を運営。専門コーディネーターの配置。</p>
<p>■ニーズ調査及び商品評価</p> <p>子ども・児童向け玩具等のニーズと製品向上に向けた事業を実施。</p>
<p>■商品開発等に関する研修</p> <p>「複数事業所が連携した共同開発事業」として、時宜に合ったテーマを設定し、共同で新製品の開発を行う。</p>

⑤ 障がい者職場実習推進事業

1 目的

道民の障がい者雇用に対する関心と理解を深める。

2 概要

障がいのある方に道の職場で就業体験の機会を提供することにより、一般就労に向けた社会人としてのマナーや教養及び職業能力の向上を支援する。

3 対象者

(1) 道内に在住する障がいのある方（身体、知的、精神、発達、難病）

(2) 次のいずれか又は両方の訓練等を受けていること。

ア 就労移行支援事業所又は就労継続支援事業所を利用しており、事務補助作業を中心とした実習に適応するための訓練。

イ センター等（北海道障害者職業センター又は障害者就業・生活支援センター、発達障害者支援センターなど）において、実習に必要な職業準備訓練等。

(3) 身の自立が確立されており、将来、企業等での就労を目指す意欲を有していること。

(4) 単独での通勤が可能であること。

(5) 精神障がいのある方にとっては、病状がおおむね安定していること。

4 実績

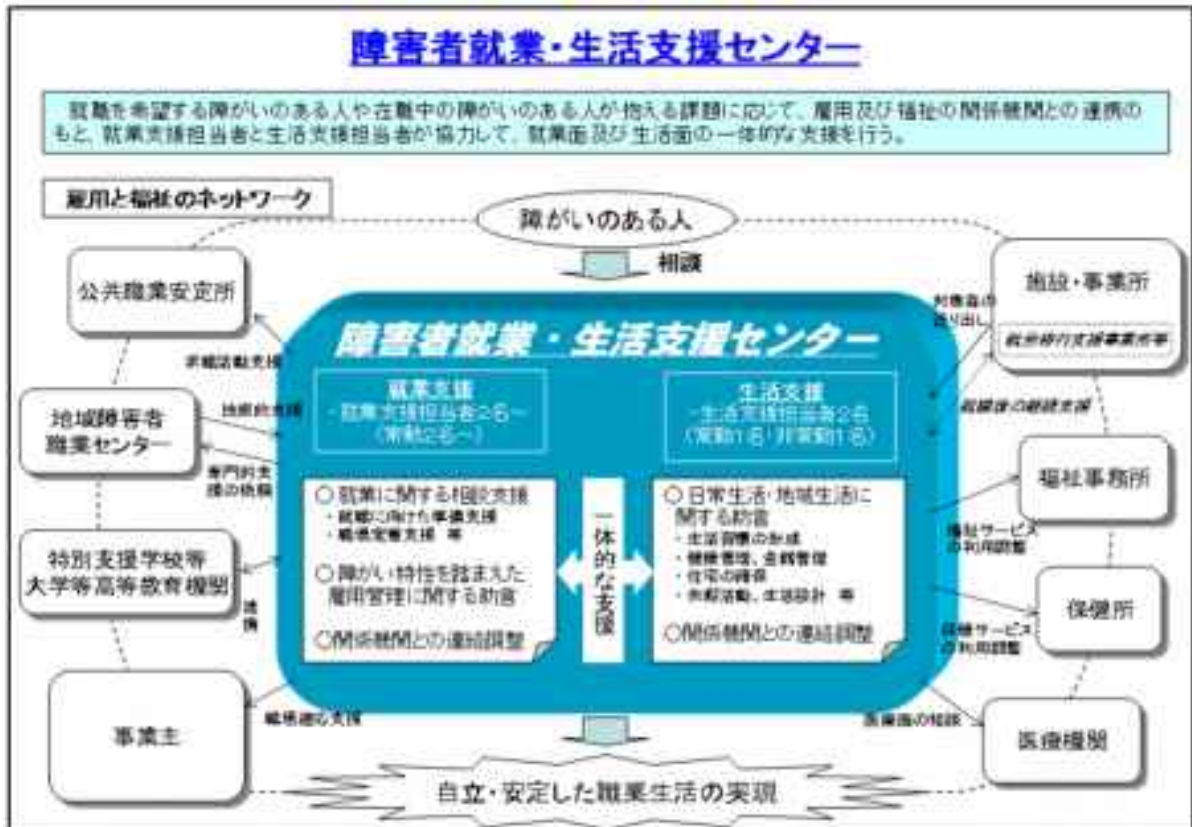
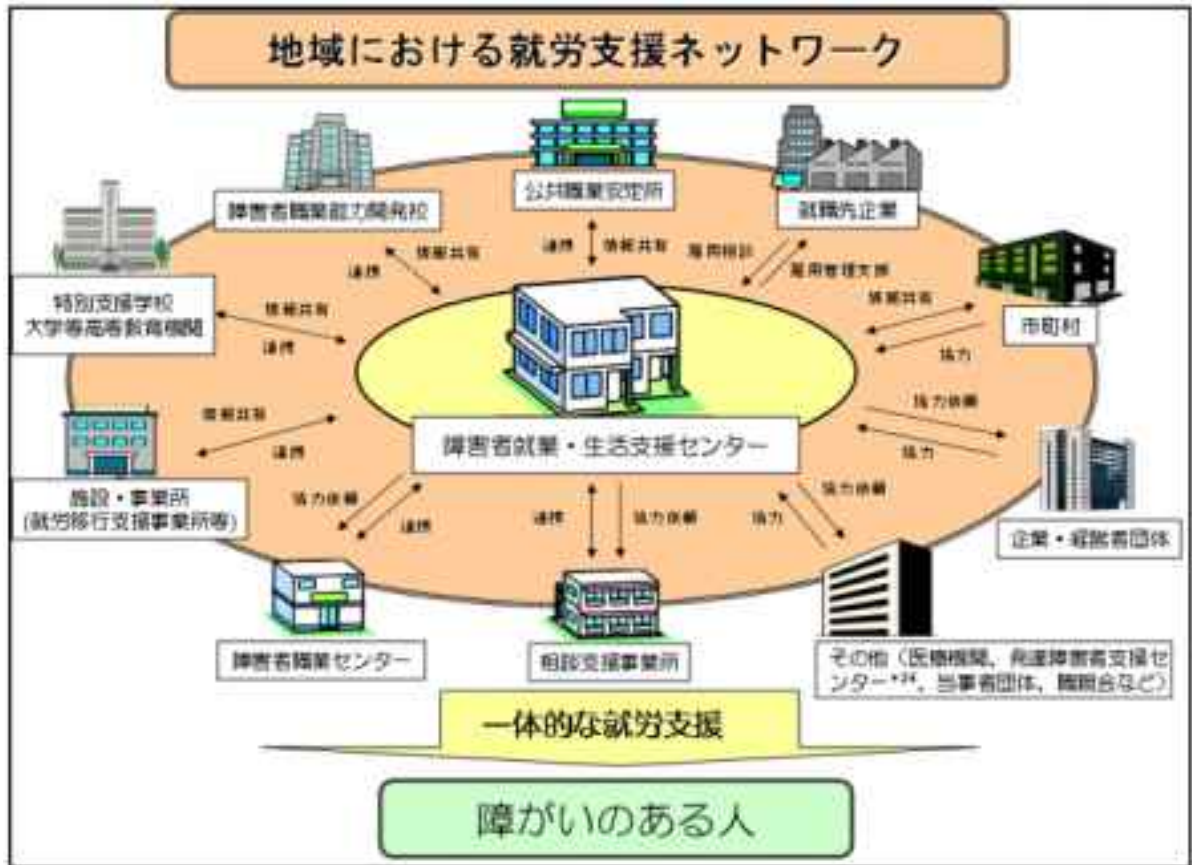
(単位：人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
本庁	8	13	14	10	12	16	15
振興局	0	4	0	8	7	8	6
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
本庁	13	16	14	12	11	4	9
振興局	6	4	1	7	5	2	2

(2) 一般就労の推進

地域における就労支援ネットワーク

一般就労への移行や職場定着を図るため、地域において、障害者就業・生活支援センターが中心となって、福祉、労働、教育等の関係機関、団体のネットワークの充実に務めます。



(3) 多様な就労の機会の確保

① 農福連携促進事業

1 目的

障がいのある人の就労先として、障がい者就労施設等の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所の商品の認知度を高めるなど、販売を促進し、障がいのある人の所得の向上を図る。

2 内容

- (1) 農福連携マルシェの開催
- (2) 農福連携マッチング支援の実施
- (3) 農業の専門家派遣
- (4) 成果報告会の開催
- (5) 成果報告書の作成

3 契約期間

令和2年6月23日(火)から令和2年12月18日(金)まで

4 契約の相手方

「農福連携促進事業委託業務」受託コンソーシアム

代表者 北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 会長 佐孝 敏之

構成員 一般社団法人 れんけい 代表理事 義平 大樹

構成員 社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 会長理事 長瀬 清

5 契約金額

9,500,000円

② 地場産業障がい者就労促進事業

1 目的

人手不足が深刻な地域の水産加工業をはじめとした地場産業の新たな担い手として、障がいのある方の就労を促進し、水福連携など福祉と地場産業との連携による障がいのある方の新たな就労の場の創出と地域での自立を促進する。

2 内容

- (1) 地場産業と障がいのある方との一般就労のマッチング支援
- (2) 受入事業者に対する障がい者の就労継続支援のための相談サポート
- (3) 成果報告会の開催
- (4) 成果報告書の作成

3 契約期間

令和2年6月4日(火)から令和3年2月26日(金)まで

4 契約の相手方

「地場産業障がい者就労促進事業委託業務」受託コンソーシアム

代表者 株式会社 ピーアールセンター

構成員 一般社団法人 北海道障がい者職親連合会

5 契約金額

10,071,350円

③ 企業と連携し新たな業態、業種の開拓・確保

障がいのある方々の幅広い職種における職場を確保するため、福祉と異業種間の交流を促進し、多様な就労の場の可能性を創出します。



④ 官民連携による障がい者のテレワーク推進

身体障がい等により、通勤して働くことが困難な障がい者がテレワークで働くチャンスを創出することを目的に、道とNPO法人札幌チャレンジドが連携して、テレワーク推進事業を実施します。

北海道とNPO法人札幌チャレンジドとの官民連携による障がい者のテレワークの推進について

目的
・身体障がいなどにより、通勤して働くことが困難な障がい者がテレワークで働くチャンスを創出する

事業概要

1. 対象者の抽出
各市町村にテレワークに関心がある対象者について抽出・推薦を依頼する。
2. 体験就労
推薦を受けた対象者と面談等を行い、適性があると見込まれる者に対し、テレワークを体験就労していただく。
3. 就労等の支援
体験就労後、本人の希望を踏まえ、テレワークでの企業への就労などを支援する。
4. テレワークの普及啓発
障がい者テレワーカー養成事例集を作成し、障がい者を支援する方々へ普及啓発する。

役割

<p>北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村に向けた事業説明の場を提供 ・テレワークを希望する障がい者の取りまとめ ・事業への協力依頼や周知 	<p>NPO法人札幌チャレンジド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者テレワーカーの養成 ・障がい者の就労等支援 ・テレワークで実施可能な業務の開拓
--	--

（４）福祉的就労の底上げ

① 民間企業との包括連携協定事業等

包括連携協定に基づく協働事業による大型商業施設等での授産製品販売や企業による顧客向けのポイント交換景品等として授産製品採用による販路拡大を図ります。

〈2020ほっかいどうナイスハートフェア in アリオ札幌〉

道と株式会社イトーヨーカ堂との包括連携協定に基づき、授産製品を販売。

日程	参加協力団体
4～9月	(新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止)
10/ 6(火)～ 8(木)	(北海道主催)
11/ 4(火)、 5(水)	北海道社会福祉協議会
12/ 8(火)、 9(水)	北海道手をつなぐ育成会
1/13(水)、14(木)	北海道精神障害者家族連合会
2/ 2(火)、 3(水)	きょうされん北海道支部・北海道精神障害者社会福祉事業協議会
3/ 2(火)、 3(水)	北海道精神障害者家族連合会

② 「北のめぐみ愛食フェア」への福祉枠参加

1 概要

道産品販売イベント「北のめぐみ愛食フェア」実行連絡会の協力により、会場内での授産製品の販売機会を提供している。

2 参加実績

	H27	H28	H29	H30	R1
参加事業所数	9	1	0	2	6

③ 授産弁当の庁内販売

1 概要

障がいのある方の就労スキル習得や工賃向上等を図るため、就労継続支援施設が製造した授産弁当を庁舎内で販売・訓練する機会を設ける。

2 参加事業者の選定

指定法人である北海道社会福祉協議会(障がい者就労支援センター)が事務局となっている「北海道産授産製品販路拡大実行委員会」から、構成団体傘下事業所に募集を行い、選定。

3 販売先

道保健福祉部内職員を中心に事前予約制で販売。

4 実績

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
販売期間(月)	11～3	8～3	9～3	8～2	8～2	7～2
参加事業所	1	2	4	4	4	2
販売数量	678	832	981	1080	933	1099
売上(円)	325, 440	413, 390	515, 000	585, 360	528, 820	649, 000